2026年11月9日

投資家の皆さまへ

アムンディ・ジャパン株式会社

弊社ファンドの基準価額下落について

11月5日の米国株式市場におけるAI（人工知能）・半導体関連株の急落を受け、11月6日の日本株式市場は大幅に下落しました。11月3日の米中間選挙の投開票結果を受け、民主党の勝利が判明した後も、政治的な混乱への懸念が後退したことから米国株は大きく上昇しました。しかしながら、AI向けデータセンター建設計画の大半を占めるテキサス、ジョージア、オハイオの州知事選でも民主党が制したことで、5日には、今後のAI向けデータセンターの建設やインフラ整備に対する規制強化への懸念が広がり、関連銘柄を中心に大幅下落となりました。こうしたAI関連投資への警戒感から投資家のリスク回避姿勢が強まり、6日の日本株式市場は全面安となりました。

このような状況を受け、以下の弊社ファンドの基準価額（11月6日）は前営業日比5%以上の下落となりました。

基準価額および前日比騰落幅・騰落率　（2026年11月6日現在）

ファンド名	基準価額（円）	騰落幅（円）	騰落率（%）
アムンディ・日経平均オープン	69,980	-4,430	-5.95
りそな・日経２２５オープン	40,426	-2,559	-5.95
日興アムンディ日本政策関連株式ファンド	28,063	-1,692	-5.69
アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド	120,387	-6,871	-5.40
日興ターゲット・ジャパン・ファンド	66,270	-3,776	-5.39
アムンディ・ターゲット・ジャパンDC	10,939	-593	-5.14

決算日に該当したファンドについて
・騰落率・騰落幅については、分配金を加算した基準価額を用いて計算した数値を表示しています。
・基準価額は、分配金落ち後の基準価額を表示しています。

当資料に関してご留意いただきたい事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）・契約締結前交付書面をよくご覧ください。

＜ご注意＞

上記に記載しているリスクにつきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクは、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長（金商）第350号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会、日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【 当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社（以下、弊社）が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想、意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。

＜6098546>